

■総会 Report

職員の紹介

—自己紹介—

日本風力発電協会 総務部長 千葉 登

はじめに

本年2月1日から事務局職員として勤務しております千葉登と申します。3月で退職されました花岡事務局長の後任として赴任いたしました。入職して半年が過ぎておりますが、風力業界初心者として日々新鮮な経験をさせていただいております。

経歴

宮城県出身です。大学では機械工学を専攻しました。1986年に電機メーカーに就職、製鉄所向けの圧延設備の設計部に配属。約4年間機械の設計に従事しました。ベテラン技師の下で主に設備の改造に携わり、新日鉄、日本鋼管、川崎製鉄といった大手製鉄会社の現場に足を運びました。構内の広さ、設備の大きさと稼働中に動く物量に怖さを覚えたことを思い出します。フィンランドの北部、スウェーデンとの国境のそばにあるステンレスの新工場立ち上げの助勢で約2か月出張したのが生まれて初めての渡航です。ロシアの隣国として苦労してきた歴史のためかロシアに勝った日本に対し好意的で、東郷ビールというビールもありました。

その後本社に転勤、設備全体の見積りをするようになりました。それまでの機械設備に加え機械設備を駆動・制御する電機設備、据付工事等関係部門が増え視野は広がりました。各部門夫々プライドが高く同じ会社内でもプロジェクトを進めるにはチームを引っ張る熱意と忍耐を要するのを感じました。海外向けのプロジェクトは受注にいたるまで時間と労力がかかりますが、当時国内での設備投資が冷え切っており海外に向かわざるを得ない状況になっておりました。

2000年より縁あって営業部門の総務関係に転属となり、営業経費、各種遵法事項をはじめとして営業活動に係わる諸々のサポート業務をしてまいりました。

振り返りますと広く浅くですが色々と係わらせていただいたと思っております。

JWPAでの業務

これまで風力発電ビジネスに係わったことのない素人ですが、JWPA事務局の総務部長を拝命し、以来、毎月の理事会、国際部会、政策部会、3月のWIND EXPO、5月の総会、6月の再エネ世界展示会、グローバルウィンドディ、本協会誌、日々の問い合わせ等々消化不良で皆様にはご迷惑をかけており申し訳ありませんが充実した協会生活を送っております。総務部として盛り立てて行かなければとは思いつつも力不足で逆にサポートを受けている状況です。皆様のご指導をいただきつつ、微力ですがお役にたてる様になりたいと思っております。

おわりに

今から30年前に配属された部署の両隣りが火力発電部門と水力発電部門でした。どちらの部門にも同期がおりいまではいい年のおやじですが、当時は気にも留めませんでした。方や化石燃料、片や風力と同じ再生可能エネルギーと話のネタになりそうです。

国内で風力発電のエネルギーポテンシャルが膨大であることを協会に来てから知りました。資源の無い日本の自国内にあるエネルギー源を有効に使わない手はなく、地球温暖化防止に向け、再生可能エネルギーのなかでも環境にやさしい風力発電設備の導入促進に向け活動する協会で働けることをうれしく思っております。また喫緊の課題も多々あり、それに対し協会一丸となり知恵を絞って対応していく過程に接し、風力ファミリーを実感しております。2月に発信されたJWPAウィンドビジョンの実現に向け微力ながら努力する所存ですので、今後とも皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしく願います。